

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム
 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：22029

「学ぶ力」	
実態	課題
<p>◇目的意識を明確にした導入や、根拠や思考のプロセスを問う問い返しの徹底により、教師が関わらずとも主体的に深め合える学びを実現した。</p> <p>◇板書による対立構造の可視化や ICT での考えの共有により、他者との相違点を明確にする土台が整った。自分の考えを、根拠をもって説明したり、友達の意見を参考にしたりする共感的な対話の雰囲気が醸成された。</p>	<p>◇児童アンケートの結果より、「新しく学んだことを使う」の肯定的な回答が前年度より大幅な減少傾向にある。また、3年間を通して NRT の結果がほぼ横ばいであり、全体的に二極化の傾向が見られるため、全体的な学力の底上げと定着が難しい児童へのフォローが求められる。</p> <p>◇保護者と教職員のアンケート結果より、家庭学習の取り組みに課題が見られた。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇「問い返し」の徹底や ICT による可視化により、根拠をもって思考を言語化し、互いの違いを認め合える対話の土台が整った。</p> <p>◇単なる「共有」で終わらず、子どものズレや疑問を拾うファシリテーションを通じ、考えをよりよく作り変える「更新」のプロセスへと高める必要がある。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら学びをデザインする力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇「一人ひとりが学びの主役になる」授業の推進を行っている。子どもたち自身が課題に対する方策を考えたり、解決のために主体的に周りに関わったりすることで、課題に対して自ら働きかけて解決しようとする姿を目指す。それぞれが多様な学習や生活経験・価値観をもとに課題にアプローチし、それを全体で共有する中で、多様な考え方に触れて、より課題探究的な学習を推進していく。</p>	<p>◇児童会活動を中心に、「みんなでとりくむ みんなでつくる みんなでかかんじる みんなでつながる」の合言葉を実現できるようにしていきたい。子どもたち自身が主体的に取り組みたいと思うことを大切にする。相手意識をもった異学年交流の企画を立案・実行できるようにしていくことで、高学年から低学年への思いやりの心、低学年から高学年への憧れの心が育ち、お互いを認め合えるようにしていく。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
<p>◇全学年を通して Chromebook を中心とした ICT 端末の活用を推進している。児童が考えを交流する場面では、アプリケーションを活用することで、短時間で効率的に多様な意見に触れることができ、児童の探究の時間により多くの時間を確保し充実させる。また、筆記での記録が難しい児童でも、写真や動画で記録を行うことで自分の考えを表現しやすくなり、意欲を保ったまま、学びを深めていく。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

